



不運な若武者 清水義高を祀る  
清水八幡神社 (入間川)

木曾義仲の嫡男清水冠者義高は人質となって鎌倉にいましたが、義仲が頼朝に討たれた後、頼朝の長女大姫の助けを借りて鎌倉を脱出しました。しかし入間川にたどり着いたとき頼朝の手のものに追いつかれ殺害されました。わずか 12 歳でした。これを悲しんだ大姫の母政子がこの地に神社を建てて義孝を祀ったのが始まりだそうです。その後水害で社殿が流されたり、石祠が行方不明になったりしましたが、そのたびに住民の手により再建され、800 年以上も祭祀が引き継がれています。

参考文献：狭山歴史ガイドの会（2014）：狭山の史跡・文化財を尋ねて

狭山発見シリーズ

狭山のパワースポット神社編

発行日：平成 28 年 10 月 1 日  
発行：さやま市民大学まちづくりコース  
地域ジャーナル講座 3 期生  
指導講師：澤野 久美子  
事務局：さやま市民大学  
〒350-1304  
埼玉県狭山市狭山台 1-21 狭山元気プラザ内  
電話 04 (2968) 6885  
FAX 04 (2959) 2785

狭山の

パワースポット

神社編



制作・萩原武士

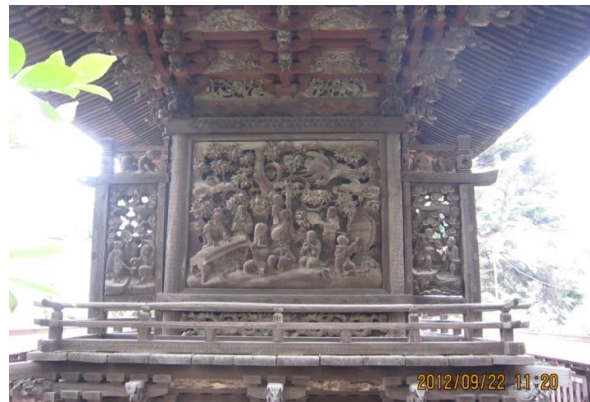
# 狭山市内には長い歴史を刻んだ神社がたくさんあります



**平安の昔から続く甘酒祭り**  
梅宮神社（上奥富）

創建は平安時代の初めで、広瀬神社と並んで市内で最も古いといわれる神社。毎年2月10・11日に行われる甘酒祭りは、埼玉県の無形民俗文化財になっています。この日は西方ばやしも出て、大勢の参拝客でにぎわいます。

酒造り、安産、林業、農業、交通安全の神様として知られています。



**壁面いっぱいの見事な彫刻**  
八幡神社（入間川3丁目）

昔の入間川村の総鎮守社。数度の火災で古い記録が失われ創建は不明ですが、新田義貞が鎌倉攻めの際に、戦勝祈願をしたと伝えられています。本殿の壁に施された彫刻は、中国の文人に好まれた琴、囲碁(将棋)、書、画の四芸を、浮彫や透かし彫りの技術を駆使して表したもの。一見の価値あります。



**樹齢800年超の大ケヤキ**  
広瀬神社（広瀬2丁目）

平安時代前半の西暦850年の文書に「官社に列す」と記録されているという古い神社。現在の社殿は明治44年(1911)に建てられたものです。

境内に幹回り6m超という大きなケヤキの神木が2本あり、いずれも樹齢は800年を超えているといわれています。また神輿倉には豪華で風格を感じさせる重さ400kgの大神輿があります。10月の祭礼にはこの神輿が広瀬地区を練り歩きます。



**大勢の神様が集まる神社**  
入間野神社（南入曽）

鎌倉時代初めの創建といわれる神社。もとは「御嶽大権現」といわれていたようですが、明治時代になって浅間神社、神明社、天神社、稲荷神社が同じ境内に合祀され、そのとき入間野神社と名前が変わりました。

神社の前を通る県道は、昔の鎌倉街道上道(かみつみち)です。また神社のすぐ北には、鎌倉初期に掘られたという「七曲井」の史跡があります。